

# 水素が動かす、 東京の未来

水素エネルギーの普及に向けた  
ビジョンの共有及び情報の発信による  
ムーブメントを醸成すべく、  
100以上の民間団体・都内自治体等と  
東京都により発足した  
「Tokyoスイソ推進チーム」では、  
水素エネルギーの普及に向けた  
取組を広く展開しています。



## 水素はどんなエネルギー？

水素エネルギーには、次のような長所があります。

- 環境に優しい
- 様々な資源からつくることができる
- エネルギーを貯めることができる
- 災害時等に電気を供給することができる

## 水素は安全？

水素は可燃性があるなどの特徴がありますが、国が定めた基準に基づき事業者が適正な取扱いを行うことで、安全は確保されています。水素は都市ガスやガソリンなどと同様に正しい取扱いをすれば安全に使うことができるエネルギーです。

※詳細は裏面をご参照ください。

「水素が動かす、東京の未来」は、Tokyoスイソ推進チームの水素推進宣言です。

Tokyoスイソ推進チーム

検索

Tokyoスイソ推進チーム



## 水素はどんなエネルギーですか？

環境に優しく、様々な資源から作ることができるエネルギーです



- 水素は利用段階では地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しません。
- また、太陽光や風力などの再生可能エネルギーによって発電した電力で水素を製造すれば、より環境に優しいエネルギーになります。
- さらに、水素は、石油や天然ガス、水やバイオマスなど様々な資源から作ることができます。



## 水素の長所はどんなところですか？

エネルギーを貯めておくことができることや、災害時等に電気を供給することができることです。



- 水素は長期間貯めておいても減らないため、例えば、夏場に再生可能エネルギーの余った電力を水素にして貯めて冬に再び電気にして使うことができます。
- また、災害時等に、水素を燃料とする燃料電池自動車・バスから避難所等に電気を供給することができます。
- 停電対応の家庭用燃料電池(エネファーム)は、ガスの供給等があれば停電時にも家庭に電気を供給することができます。



## 水素は何に使えますか？

車やバス、家庭の電気や給湯など、身近な生活の中で使うことができます。



- 都内では、水素を燃料とする燃料電池自動車・バスが既に走行しており、車に水素を供給する水素ステーションの整備も進められています。
- また、水素を発電・給湯等に使用する家庭用燃料電池(エネファーム)、業務・産業用燃料電池の普及も進んでいます。
- かつての都市ガスには、水素が混合しており、毎日の調理や給湯など、身近な生活で水素が使われていました。



## 水素は安全ですか？

ガソリンや都市ガスと同様に正しく管理すれば安全なエネルギーです。



- 水素は、無色・無臭、空気より軽い、可燃性があるなどという特徴があります。
- このような水素の特徴を踏まえ、国が定めた基準に基づき事業者が適正な取扱いを行うことで、安全は確保されています。
- 水素は都市ガスやガソリンなどと同様に正しい取扱いをすれば安全に使うことができます。